

恵庭市農福連携成功事例集 (作業工程マニュアル)

令和3年度追加版



令和4年3月

恵庭市農福連携による障がい者等就労促進ネットワーク
(恵庭市農福連携ネットワーク)

恵 庭 市

追加版の発行にあたって

恵庭市では、この「恵庭市農福連携ネットワーク成功事例集」（以下、事例集）を平成31年3月に初版として発行し、それ以降毎年度改訂版を発行してきました。平成30年度の初版で掲載した事例は、ピーマンの定植や小松菜の収穫など13事例であったのが、令和元年度の改訂版では22事例、令和2年度の改訂版では29事例と増加してきました。これは農業関係者、福祉関係者がそれぞれの取組みを継続してきたことにより、農福連携が推進されてきたものと考えられます。

掲載する事例が増えたことにより、令和3年度からは、新たに確認できた取組み事例について、これまでの事例集に追加するかたちの「追加版」として発行することといたしました。

これまでの事例集と、合わせてご覧いただけましたら幸いです。

目次

農福連携型（通い型）

田植えの補助	3
カフェ食材の収穫・定植	4
ハウス周辺の除草（ほ場管理）	5

福祉完結型

玉ネギの定植	6
--------	---

ハウス周辺の除草（ほ場管理）



パターン1【通い型】



永峰農園×やまびこ作業所 事例

ほ場管理としてのビニールハウス周辺の除草は6月頃より不定期で行われる。この日は職員1名、利用者1名の計2名で作業を行った。

作業は大きく分けて、職員が電動刈り払い機で草刈りを行う作業と、利用者が刈り終えた草を集め、集積場まで草を運ぶ作業からなっている。刈り払い機など機械を使用するため、利用者は刈り払い中に近づかないことや、待機場所など、事故防止の指示が理解できることが条件となる。草を集める作業は、体力はかなり必要だが単純作業であるため、全体としてはやさしい作業である。



↑こちらから
動画がみられます





職員が電動刈り払い機でハウス周辺の草刈りをする



刈り終えた草を利用者が集める（この時、電動刈り払い機は使用は一時停止させる）



集めた草を、集積場まで持っていく



手で抜ける草は、機械を使わずカマや手で抜く



機械や器具は安全管理のため一か所に置く

作業分析

■区分 時給

■工賃 400円

■作業時期 不定期

■難易度 やさしい

■障がい種別 知的・精神



作業時期



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

カフェ食材の定植・収穫



パターン1【通い型】



中村農園×はッピーjob 事例

作業は6月上旬～7月中旬頃に行われる。この日は利用者2名、職員2名で作業を行った。

ズッキーニ、サラダ菜、ラディッシュ、ブロッコリー、ほうれん草、ニラなど多様な種類の野菜を小ロットで栽培をしている農場で、ズッキーニやサラダ菜は収穫、ブロッコリーは定植など、単一の作業ではなく複数の混在した作業を行っている。これには一定程度の判断力と体力が求められる作業である。収穫された作物は、障がい者により調理や盛り付けが行われているカフェや宅配のお弁当の食材となる。農作業からカフェの作業まで障がい者が関与している事例となっている。



↑こちらから
動画がみられます





作業工程



ブロッコリーの苗をマルチに定植する



ズッキーニの大きさを確認して収穫する



サラダ菜の大きさや葉の状態を確認して収穫する



カフェ作業の様子

コロナ対策のため店内カフェではなく、宅配お弁当の作業

作業分析

■区分 時給

■工賃 300円

※カフェ作業等を含む。

■作業時期 6月上旬～7月中旬

■難易度 ふつう

■障がい種別 知的・精神

★熱中症に注意



作業時期



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

※作業分析は令和3年度時点の参考情報であり類似作業の基準となるものではありません。

玉ネギの定植

パターン4【福祉完結型】

NOVAS 事例

玉ネギの定植作業は5月下旬から6月上旬頃に行われる。この日は利用者6名、職員6名で作業を行った。

玉ネギの定植作業は、大きく分けて、苗を準備する作業と、一定の間隔で苗を植える作業からなる。

作業の注意点としては、苗の根を切りすぎないようにする、苗を一定の間隔で植える、土に浅く植えすぎないようにするなどがある。注意事項を踏まえながら定植するには、体力や判断力が一定程度は求められる作業である。

また、この作業にはサービス付き高齢者住宅の入居者（高齢者）も生きがいづくりの一環として参加されていた。



↑こちらから
動画がみられます





1

苗箱から苗を取り出す



2

根の土を落とし、根を半分ほどちぎる



3

15cm間隔でひもに沿って植える



4

根を水で濡らしておくとお定植しやすくなる



5

苗を手渡す人、植える人の2人一組で行うとスムーズ



作業分析

■区分 時給

■工賃 350円

■作業時期 5月下旬～6月上旬

■難易度 ふつう

■障がい種別 知的・精神

作業時期



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

※作業分析は令和3年度時点の参考情報であり類似作業の基準となるものではありません。

田植えの補助

 パターン1【通い型】  ファームこでら×やまびこ作業所 事例

田植えの補助作業は5月下旬頃から行われる。この日は利用者1名と農業版ジョブコーチ^(注1)1名の計2名で、短い期間で田植えを終わらせるために補助作業を行った。田植えの補助作業は、大きく分けて、苗を苗床から水田へ移動する作業、苗を田植えのトラクターへ受け渡す作業、カラになった苗箱の片づけ作業からなる。

トラクターでの田植え作業の進行に合わせて行うため、農業者と調整しながら進める必要がある。また、肌寒い時期の作業のため衣類の調整や体調の管理が必要で、重いものを持つための体力も求められる作業である。



↑こちらから
動画がみられます



※農業者と障がい者を円滑に結びつける役割を持つ者で、道央地域農福連携推進連絡協議会で育成、認定している。



作業工程



専用器具で苗床から苗を苗箱ごと取り出す



取り出した苗を軽トラに積み込み水田に移動



苗をトラクター運転の農業者へ手渡す



使用済みにになった苗箱を受け取る



苗箱を束ねて、苗箱洗いへ移動する



作業分析

■区分 時給

■工賃 500円

■作業時期 5月下旬～

■難易度 ふつう

■障がい種別 知的・精神

作業時期



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

※作業分析は令和3年度時点の参考情報であり類似作業の基準となるものではありません。



平成 31 年 3 月 初版発行

令和 2 年 3 月 改訂版発行

令和 3 年 3 月 改訂版発行

令和 4 年 3 月 追加版発行

恵庭市農福連携ネットワーク成功事例集

令和 3 年度追加版

発行 恵庭市農福連携による障がい者等就労促進ネットワーク
(恵庭市農福連携ネットワーク)

編集 恵庭農福連携ネットワーク事務局
恵庭市 保健福祉部 障がい福祉課
〒061-1498 北海道恵庭市京町1番地
TEL : 0123-33-3131 (内線1215)
FAX : 0123-33-3137